MITSUBISHI ELECTRIC

冷媒 R410A対応

三菱電機 産業用除湿機

形名

KFH-P2A1(-BKN)
KFH-P3A1(-BKN)
KFH-P5A1(-BKN)
KFH-P10A1(-BKN)
KFHV-P7A(-BKN)
KFHV-P9A(-BKN)
RFH-P2A1(セット形名)
RFH-P3A1(セット形名)
RFH-P5A1(セット形名)
RFH-P10A1(セット形名)

取扱説明書

もくじ　ページ

安全のために必ず守ること …… 4
1. 各部の名称 …… 7
2. 付属品 …… 11
3. 別売部品 …… 12
4. ご使用の前に …… 13
5. 使いかた …… 14
6. お手入れ …… 21
7. 定期点検のお願い …… 23
8. 製品独自のお願い事項 …… 25
9. 据付工事の確認と試運転 …… 26
10. 仕様 …… 27
11. 修理を依頼する前に …… 30
12. 法令関連の表示 …… 32
13. 保証とアフターサービス …… 33
14. 環境関連の表示 …… 35

- このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入を確かめて、販売店（工事店）からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」および「保証書」をお渡しください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.
- 受注仕様品については製品の細部が、この説明書と異なる場合があります。
- 本書に記載の製品形名は表紙に記載している形名のうち「-BKN」を省略して表記しています。

WT08285X05

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること …… 4
1. 各部の名称 …… 7
1-1. 本体部 …… 7
1-2. リモコン部 …… 9
2. 付属品 …… 11
3. 別売部品 …… 12
4. ご使用の前に …… 13
5. 使いかた …… 14
5-1. 運転開始 …… 14
5-2. 室内温湿度の表示 …… 14
5-3. 設定湿度の変更 …… 15
5-3-1. 設定湿度を変更する …… 15
5-3-2. 設定温度を変更する（RFH形のみ） …… 15
5-3-3. 運転温湿度範囲の目安 …… 16
5-4. 運転モードの選択 …… 18
5-5. 霜取運転 …… 19
5-6. 運転停止 …… 19
5-7. 長期間使用しないとき …… 20
6. お手入れ …… 21
6-1. 日常の保守 …… 21
7. 定期点検のお願い …… 23
8. 製品独自のお願い事項 …… 25
8-1. 廃棄について …… 25
8-2. 移設時の据付場所について …… 25
9. 据付工事の確認と試運転 …… 26
10. 仕様 …… 27
11. 修理を依頼する前に …… 30
12. 法令関連の表示 …… 32
12-1. 標準的な使用条件 …… 32
12-2. 機器予防保全と消耗部品の交換周期の目安 …… 32
13. 保証とアフターサービス …… 33
13-1. 保証について …… 33
13-1-1. 保証できない範囲 …… 33
13-2. 補修用性能部品の保有期間 …… 33
13-3. 修理を依頼されるときは（出張修理） …… 34
13-4. 移設について …… 34
13-5. お問い合わせ …… 35
14. 環境関連の表示 …… 35

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）（接触禁止）（水ぬれ禁止）（ぬれ手禁止）（一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

⚠ 警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。

禁止

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

禁止

以下の特殊な環境では使用しないこと。

- **油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ**
- **酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ**

- 性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- 燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

禁止

改造はしないこと。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- 保護装置を改造して運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

変更禁止

ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。

- 工具などが落下すると、けがのおそれあり。

禁止

ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- 引火・火災・爆発のおそれあり。

禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

禁止

電源プラグを抜いて運転を停止しないこと。

- 火傷・感電のおそれあり。

禁止

ヒューズ交換時は、針金・銅線を使用しないこと。指定容量のヒューズを使用すること。

- 発火・火災のおそれあり。

禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

接触禁止

ユニットを水・液体で洗わないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

水の入った容器を製品などの上に載せないこと。

- 水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- 回転機器により、けがのおそれあり。

指示を実行

薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。

- 薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- 薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

指示を実行

換気をよくすること。

- 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。
- 燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼により、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

換気を実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。

指示を実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

指示を実行

⚠ 注意

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。

禁止

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ファンによるけがのおそれあり。

禁止

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- 保存品が品質低下するおそれあり。

使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- 悪影響のおそれあり。

禁止

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。

接触禁止

電気部品を触る場合は、保護具を身に付けること。

- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。

指示を実行

作業する場合は保護具を身に付けること。

- けがのおそれあり。

指示を実行

移設・修理をするときに

⚠ 警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

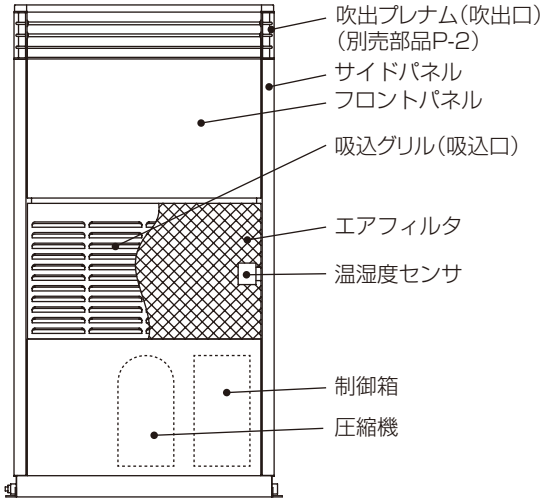
- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

1. 各部の名称

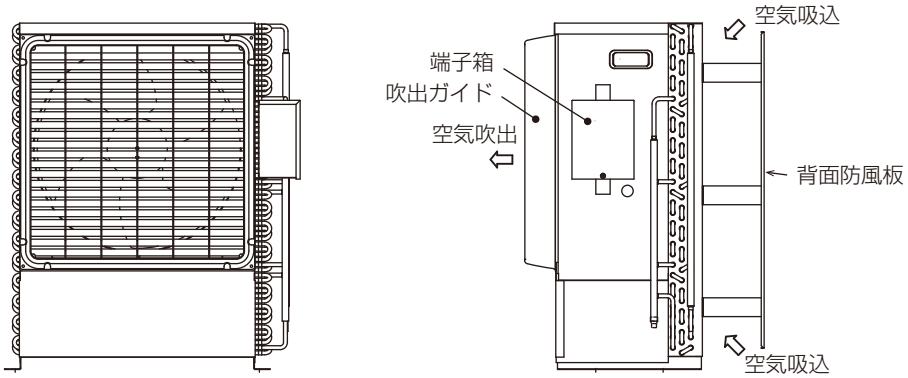
1-1. 本体部

[1] 室内ユニット

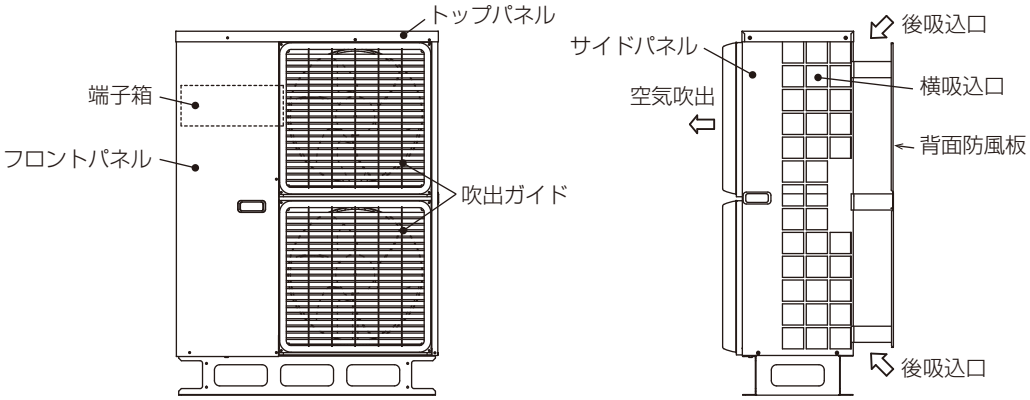


[2] 室外ユニット

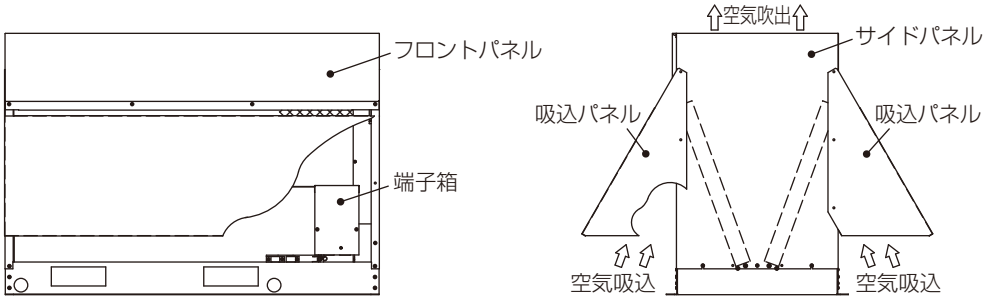
■ RV-P2・3A 形



■ RV-P5A 形



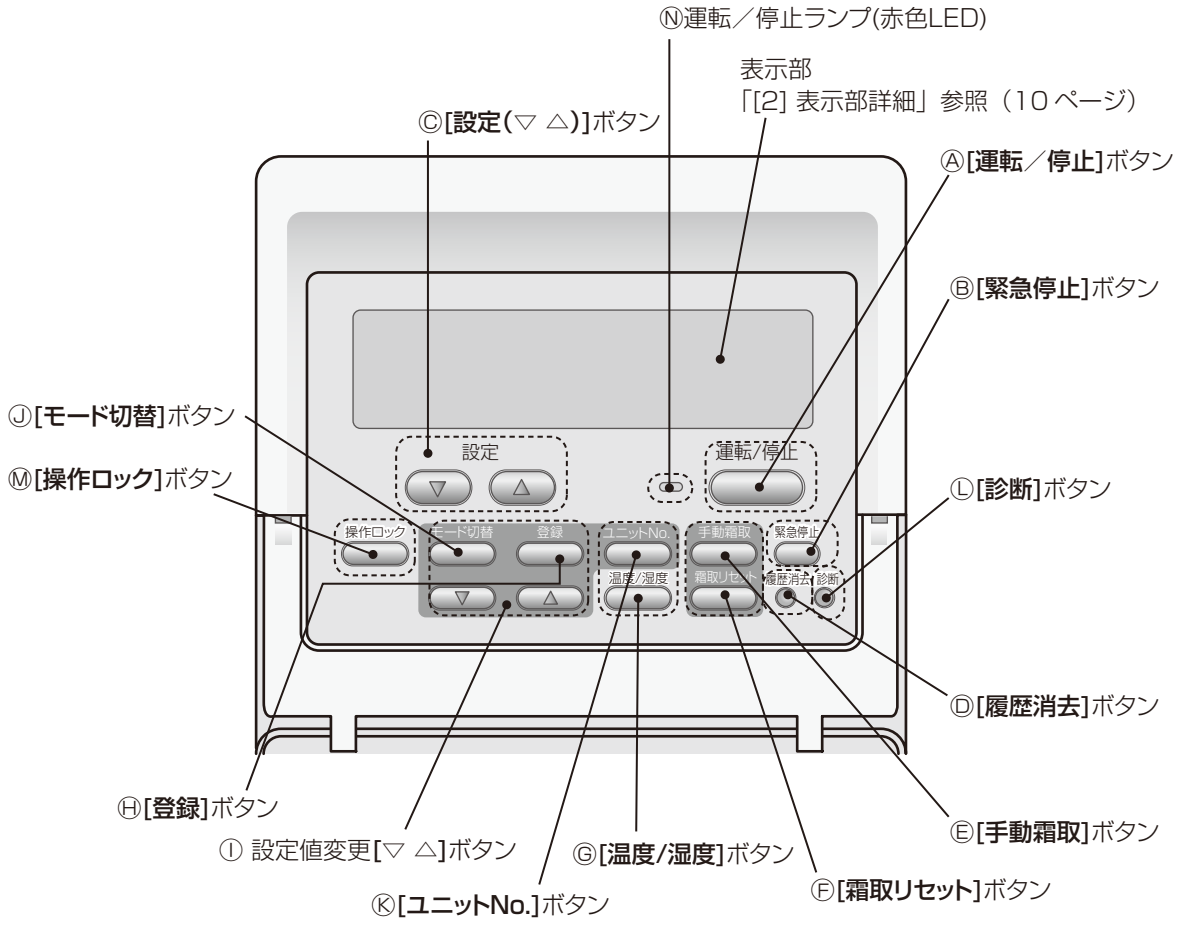
■ RV-P10A 形



※1　リモコンについては関連ページを参照してください。
「1-2. リモコン部」参照（9ページ）

1-2. リモコン部

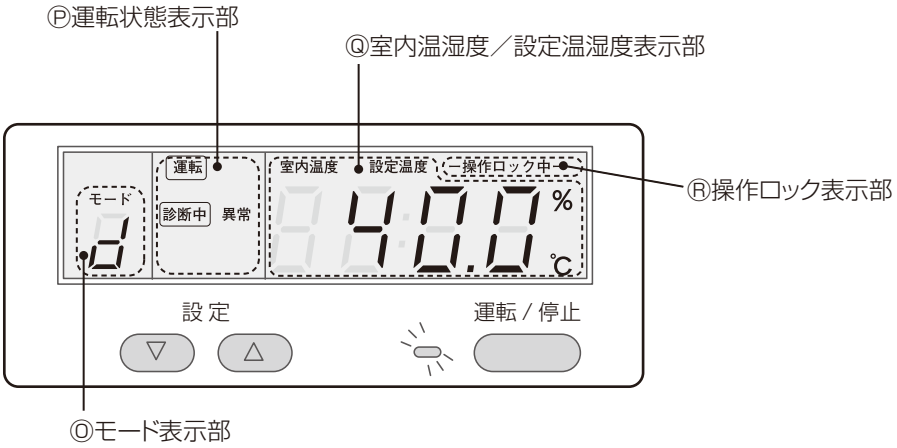
[1] リモコン



項目	説明
Ⓐ [**運転／停止**] ボタン	ボタンを 2 秒以上押し続けるたびに、運転↔停止が切換わります。 異常時はいったん停止させることにより異常停止が解除されます。
Ⓑ [**緊急停止**] ボタン	ボタンを押すと、運転（圧縮機、送風機）が瞬時に停止します。
Ⓒ [**設定**（▽ △）] ボタン	ボタンを 1 回押すと、設定値が表示します。設定値が表示中に再度ボタンを押すと、設定値を変更することができます。 操作ロック中には設定値の表示のみ可能です。
Ⓓ [**履歴消去**] ボタン	3 秒以内に 2 回押すと、過去の異常履歴を消去します。
Ⓔ [**手動霜取**] ボタン	ボタンを操作することにより、霜取を開始します。
Ⓕ [**霜取リセット**] ボタン	ボタンを操作することにより、霜取を終了します。
Ⓖ [**温度 / 湿度**] ボタン	ボタンを操作することにより、表示部の表示内容を変更することができます。 「室内温度」→「室内湿度」→「室内温度・湿度交互表示」→「室内温度」
Ⓗ [**登録**] ボタン	モード設定時にボタンを操作することにより、設定値を登録することができます。
① 設定値変更 [▽ △] ボタン	モード設定時、各種設定値を変更します。
Ⓙ [**モード切替**] ボタン	設定モード時にボタンを操作することにより、設定項目を切換えることができます。 モード１：運転モード　モード５：温度設定ディファレンシャル（上限） モード２：湿度ディファレンシャル　モード６：温度設定ディファレンシャル（下限） モード３：湿度設定ポイント　モード７：温度シフト差 モード４：温度設定ポイント • モード２～７は通常、設定する必要はありません。詳しくは据付工事説明書を参照してください。
Ⓚ [**ユニット No.**] ボタン	ボタンを操作することにより、グループ運転内の各ユニットの吸込空気の状態を表示部に表示することができます。 • 通常は親機（UC1）の吸込空気の状態を表示します。
Ⓛ [**診断**] ボタン	3 秒以内に 2 回押すと、点検（自己診断）モードに移行します。5 秒以上押し続けるとリモコン診断モードに移行します。

項目	説明
Ⓜ [**操作ロック**] ボタン	ボタンを 2 秒以上押し続けると、他の操作ボタンが無効になります。 ※ **[運転／停止]**、**[緊急停止]** ボタンはロックしません。 ※ **[設定(▽ △)]** ボタンを押すと温度・湿度設定値の確認ができます。
Ⓝ 運転／停止ランプ （赤色 LED）	運転時、点灯します。 停止時、消灯します。 異常時、点滅します。

[2] 表示部詳細



項目	説明
Ⓞモード表示部	通常は運転モードを表示します。（KFH 形、KFHV 形は d・F のみ表示） A：自動 d：除湿固定 C：冷却固定 F：送風固定 モード切換時にはモード番号 (1 ～ 7) を表示します。（KFH 形、KFHV 形は 1 ～ 3 のみ表示）
Ⓟ運転状態表示部	「運転」…運転時表示します。 「異常」…点検必要時表示します。
Ⓠ室内温湿度 / 設定温湿度表示部	室内温度、湿度または設定温度、湿度を表示します。
Ⓡ操作ロック表示部	操作ロック時、表示します。

2. 付属品

本ユニットには、下記付属品が同梱しています。

品名	個数					備考
	KFH-P2, 3, 5A1	KFH-P10A1	KFHV-P7, 9A	RF-P2, 3, 5A1	RF-P10A1	
リモコン	1	1	1	1	1	
取扱説明書	1	1	1	1	1	
据付工事説明書	1	1	1	1	1	
パネル（リフト爪通し穴用）		4			4	
ねじ（リモコン取付用）	2	2	2	2	2	
ねじ（パネル取付用）		8			8	
保証書	1	1	1	1	1	

3. 別売部品

以下の部品は、三菱電機指定の純正部品を使用してください。
お買上げの販売店にお問い合わせください。

No.	適用機種 種類	KFH-P2, 3A1/ RFH-P2, 3A1	KFH-P5A1/ RFH-P5A1	KFH-P10A1/ RFH-P10A1	KFHV-P7, 9A
P-1	電気ヒータ	—	—	機内組込不可 （ダクトヒータなどを現地にて用意してください）	—
P-2	吹出プレナム	J − P2PL	J − P5PL	J − P10PL	J − P7PL
P-3	吹出ダクトフランジ	J − P2FDF	J − P5FDF	＜標準組込＞	J − P5FDF
P-4	後吸込ダクトフランジ （前吸込ふさぎパネル付）	J − P2DF	J − P5DF	PAC-CP03DF	—
P-5	吹出丸ダクト	J − P2MD	J − P5MD	—	J − P7MD
P-6	高性能フィルタ	J − P2FF	J − P5FF	J − P10FF	J − P7FF
P-7	アクティブフィルタ	—	—	—	PAC-KR51EAC

4. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、「9. 据付工事の確認と試運転（26ページ）」の事項をお客様自身でご確認ください。
- 専門業者による据付工事が終了後、使用者立会いのもとで試運転の実施と安全を確保するための正しい使い方の説明を受けてください。
- 据付工事説明書のチェックリストを受け取ってください。

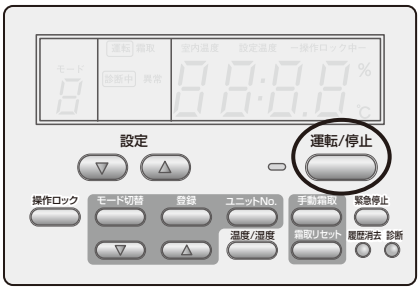
5. 使いかた

- **外部信号などで運転操作する場合は、その操作方法に従ってください。**

5-1. 運転開始

手順

1. **[運転/停止]** ボタンを２秒以上押し続ける。



お知らせ

- 誤動作防止のため２秒程度時間を設けています。

運転ランプが点灯します。
運転を開始します。

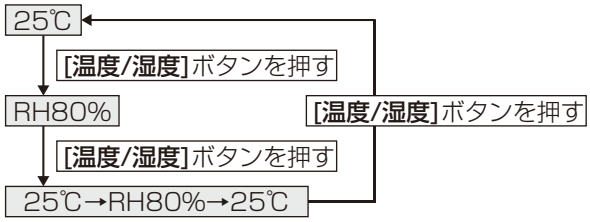
お知らせ

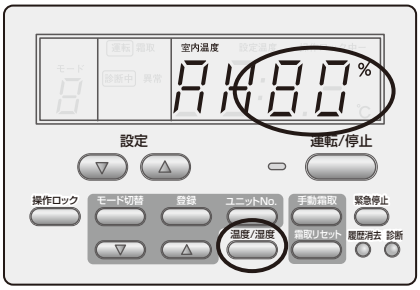
- 運転モード、温度設定、湿度設定などのリモコン設定内容は、一度設定すると電源を切った後も記憶していますので、運転の都度設定する必要はありません。
- 除湿運転中は、圧縮機の動力分と水分の凝縮潜熱分だけ吹出空気温度が吸込空気温度よりも上昇します。

5-2. 室内温湿度の表示

手順

1. **[温度/湿度]** ボタンを押す。
   ボタンを押すごとに表示内容が室内温度→室内湿度→室内温湿度交互に変更します。





- RHは「Relative Humidity」（相対湿度）の略です。

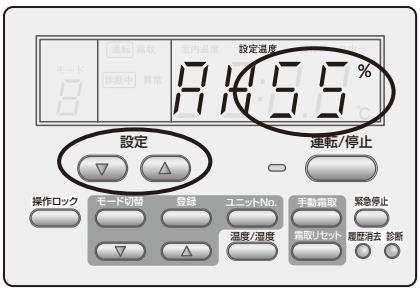
5-3. 設定湿度の変更

5-3-1. 設定湿度を変更する

手順

1. 室内湿度表示中に [**設定** (▽ △)] ボタンを 1 回押す。
   設定湿度が表示します。

2. 設定湿度を変更するときは、[**設定** (▽ △)] ボタンを更に押す。

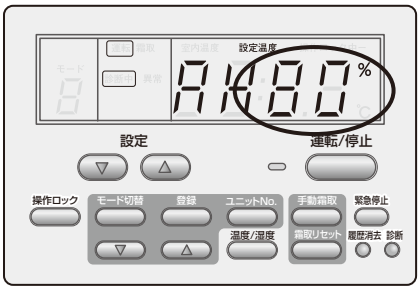


お知らせ

- 1 回押すごとに設定湿度を 1%変更できます。
  設定範囲は下記のとおりです。

湿度	初期値
29 ～ 85%	40%

3. 変更後、約 10 秒間放置する。
   10 秒後に室内湿度が再度表示し、設定が完了します。

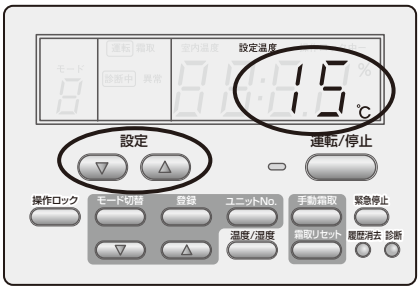


5-3-2. 設定温度を変更する（RFH 形のみ）

手順

1. 室内温度表示中に [**設定** (▽ △)] ボタンを 1 回押す。
   設定温度が表示します。

2. 設定温度を変更するときは、[**設定** (▽ △)] ボタンを更に押す。

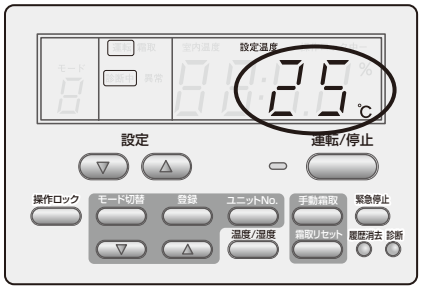


お知らせ

- 1 回押すごとに設定温度を 0.5℃変更できます。
  設定範囲は下記のとおりです。

温度	初期値
0.0 ～ 40.0℃	25.0℃

3. 変更後、約10秒間放置する。
10秒後に室内温度が再度表示し、設定が完了します。

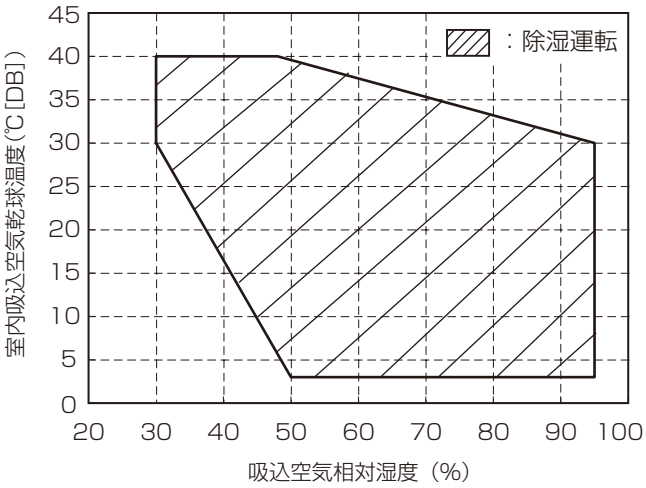


5-3-3. 運転温湿度範囲の目安

下図の温湿度範囲内で使用してください。
下図の範囲外で使用すると、保護装置が作動してユニットが停止する場合があります。

[1] KFH形

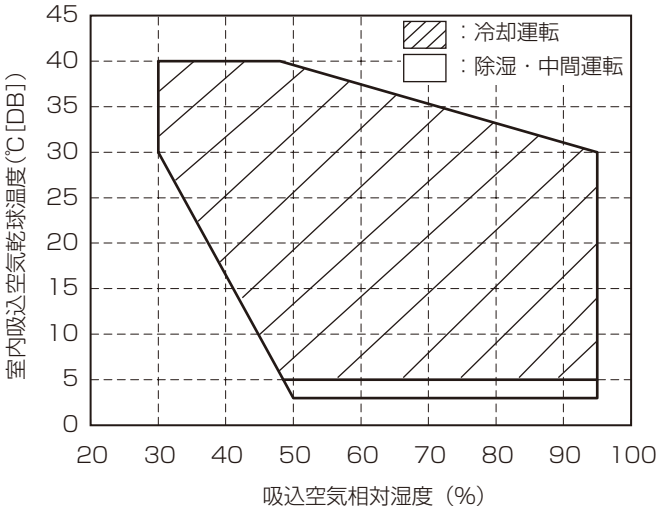
運転範囲＜室内温湿度＞



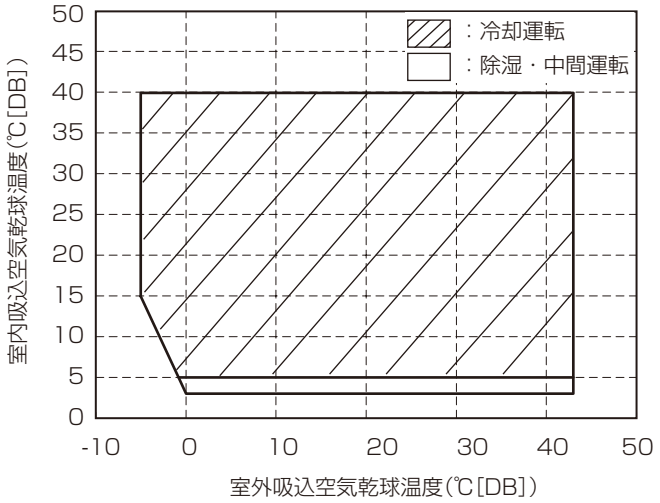
- 室内空気吸込温度が低くなると（目安：20℃以下）、室内ユニットの熱交換器に霜が付くため自動的に霜取運転をすることがありますが、異常ではありません。（リモコンに「霜取」と表示されます。）

[2] RFH形

運転範囲＜室内温湿度＞



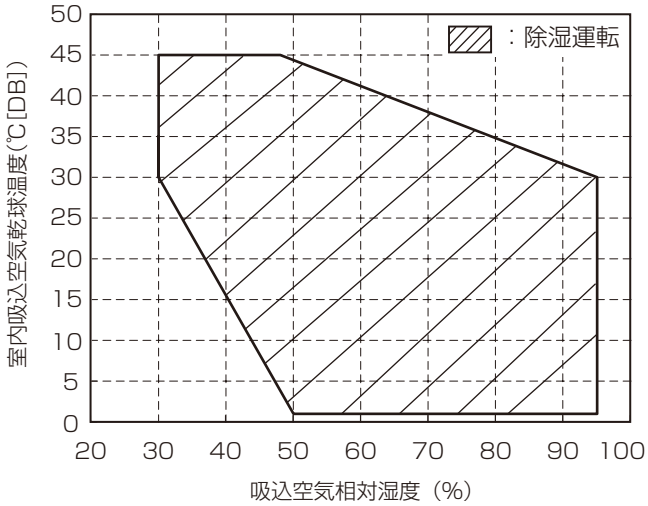
運転範囲＜室内外温度＞



- 除湿・中間運転における使用範囲内では、室内吸込空気乾球温度が約30℃以上になると自動的に中間運転に切替わります。

[3] KFHV形

運転範囲＜室内温湿度＞



- 室内空気吸込温度が低くなると（目安：20℃以下）、室内ユニットの熱交換器に霜が付くため自動的に霜取運転をすることがありますが、異常ではありません。（リモコンに「霜取」と表示されます。）

5-4. 運転モードの選択

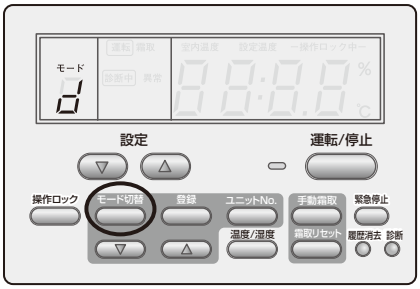
通常は、変更せずに使用してください。(KFH形、KFHV形：d(除湿固定)、RFH形：A(自動))
運転モードを変更する場合は、以下の説明に従って設定してください。

運転モード		運転内容
A	自動	目標の温湿度となるように自動で運転モードが切替わります。
d	除湿固定	目標の湿度となるように除湿運転のみを行います。
C	冷却固定	目標の温度となるように冷却運転のみを行います。
F	送風固定	送風運転のみを行います。

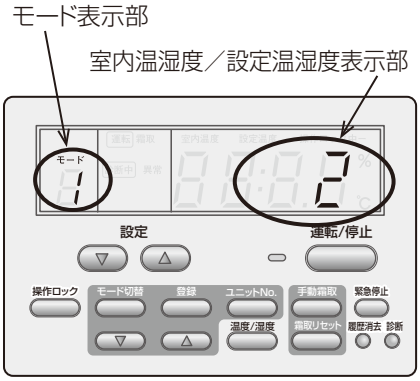
※ KFH形、KFHV形の場合、運転モードA・Cを選択すると運転モードd(除湿固定)に切替わります。

手順

1. 運転中に **[モード切替]** ボタンを押す。



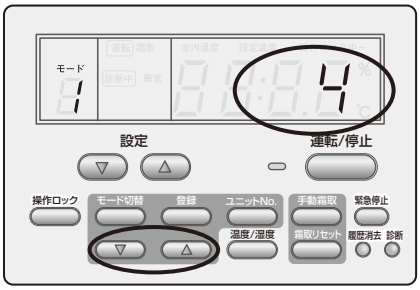
モード表示部に1が表示します。
室内温湿度/設定温湿度表示部に現在の運転モード番号が表示します。



お願い

- **[モード切替]** ボタンを押すごとに、モード表示部に1～7まで(KFH形、KFHV形は1～3まで)が表示します。モード表示部の表示が1であることを確認し、次の操作に進んでください。

2. 設定値変更 **[▽ △]** ボタンを押して、希望の運転モードを選択する。



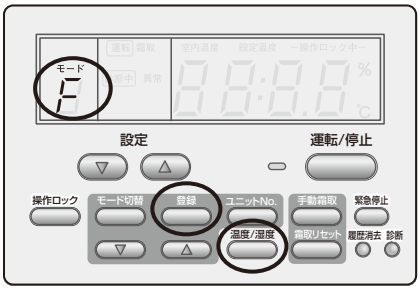
お願い

- 運転モードと、室内温湿度/設定温湿度表示部番号の対比は下表となっています。希望の運転モードになるように表示部を確認しながら設定してください。

モード表示部番号	運転モード		**室内温湿度/設定温湿度表示部番号**
1	A	自動	**1**
1	d	除湿固定	**2**
1	C	冷却固定	**3**
1	F	送風固定	**4**

3. **[登録]** ボタンを押す。
運転モードの変更が完了します。

4. **[温度/湿度]** ボタンを押して、モード表示部に希望の運転モードが表示されていることを確認する。



5-5. 霜取運転

室内ユニットの熱交換器についた霜を溶かす運転をします。
霜取運転中は、運転状態表示部に『霜取』と表示します。

霜取は自動的に行います。除湿運転途中で霜取をしたい場合は操作パネルを開け、以下の手順で手動霜取を行うことができます。

[1] 強制的に霜取運転をする場合

手順

1. 運転ランプ点灯中に **[手動霜取]** ボタンを 1 回押す。

[2] 強制的に霜取運転を終了する場合

手順

1. 霜取運転中、**[霜取リセット]** ボタンを 1 回押す。

お願い

- 残霜がないことを確認して操作してください。

5-6. 運転停止

[1] 通常の場合

手順

1. **[運転 / 停止]** ボタンを 2 秒以上押し続ける。

お知らせ

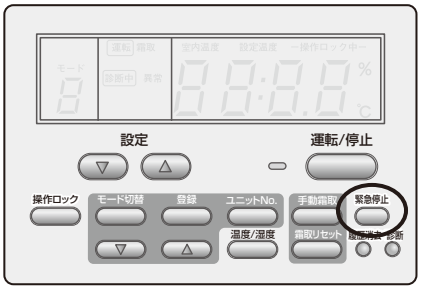
- 誤動作防止のため 2 秒程度時間を設けています。

運転ランプが消灯します。
運転を停止します。

[2] ユニットを緊急に停止させたい場合

手順

1. **[緊急停止]** ボタンを押す。
- ユニットがすぐに停止します。



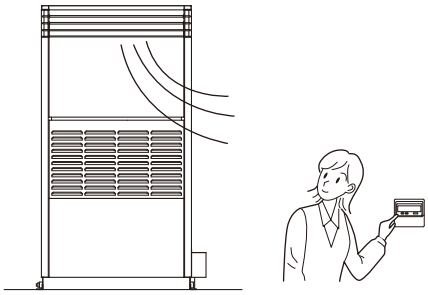
5-7. 長期間使用しないとき

[1] 運転停止の方法

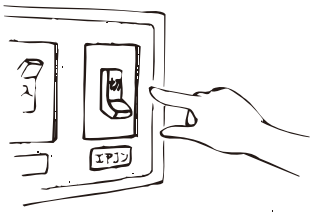
手順

1. 4～5時間、送風運転する。
   室内ユニット内部を乾燥させます。

2. リモコンの **[運転／停止]** ボタンを押して、運転を停止する。



3. ユニットの電源（ブレーカ）を切る。



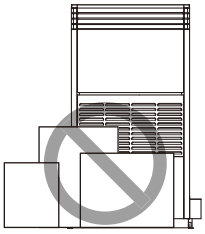
[2] 再度使い始めるとき

- 下記手順1～3を行い、異常がないことを確認後、電源（ブレーカ）を入れてください。

手順

1. エアフィルタを清掃して、取付ける。

2. 室内ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。



3. ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

4. 電源（ブレーカ）を「入」にする。

5. 運転を開始する。
   - KFH-P10A1、RF形、KFHV形は、電源（ブレーカ）を入れてから6時間以上経過後、運転を開始してください。

6. お手入れ

6-1. 日常の保守

⚠ 警告

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- 回転機器により、けがのおそれあり。

指示を実行

⚠ 注意

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

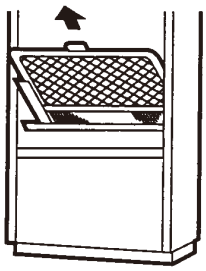
- けがのおそれあり。

接触禁止

(1) エアフィルタの清掃

手順

1. エアフィルタを取外す。
   吸込グリルの内側に取付けられています。斜め上方に引き出してください。



2. 取外したエアフィルタのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いする。
   - 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
   - 50℃以上の熱いお湯をかけないでください。変形することがあります。
   - もみ洗いや強く絞ることはしないでください。
   - 洗剤が残らないようにすすぎをしてください。

洗浄の目安

ほこりの少ない場所	月 1 回程度
ほこりの多い場所	週 1 回程度

3. 水洗いしたときは、日陰でよく乾かす。
   直射日光や直接火に当てて乾かさないでください。変形・変色することがあります。
4. エアフィルタを元どおりに取付ける。

(2) パネルの清掃

中性洗剤をやわらかな布に含ませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭き取ります。

お願い

- ベンジン・シンナーは使用しないでください。
- エアフィルタを外した状態で運転しないでください。
  ユニット内部にごみが詰まり、故障のおそれがあります。

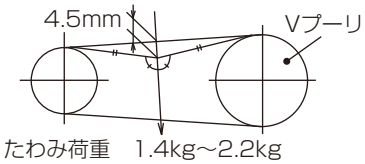
(3) 室外ユニット熱交換器の洗浄（RFH形のみ）

長時間除湿機を使用すると、室外ユニット熱交換器にほこりなどがつき、熱交換が悪くなって除湿・冷却能力が低下します。
洗浄方法についてはお買い上げの販売店に相談してください。

(4) Vベルトの張り調整（KFH-P10A1、RFH-P10A1のみ）

室内送風機のVベルトは、運転時間の経過と共に全長が伸びて張力が低下します。
この状態で運転を続けると、変磨耗や異常音が発生し、故障の原因になることがあります。

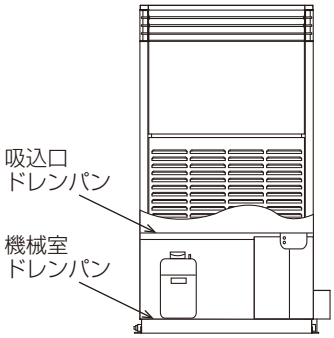
【調整時期】
- 初　　回：24～28時間後
- ２回目以降：2000時間毎
- 交　　換：8000時間毎



【張力】
Vプーリの調整などの詳細は、据付工事説明書を参照していただくか、お買い上げの販売店に相談してください。

(5) ドレンパンの洗浄

室内ユニットのドレンパンにほこりなどがたまると、水漏れや腐食の原因となります。
定期的に洗浄してください。
【洗浄の目安】
- ほこりの少ない場所
  月１回程度
- ほこりの多い場所
  週１回程度



7. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。
本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。
当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。
点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」に連絡してください。

JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有料）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトを参照してください。*JRA: 一般社団法人 日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14 について、https://www.jraia.or.jp/info/gl-14/index.html
・冷媒フロン類取扱技術者制度について、http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/

様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）

年　月　日 ～　年　月　日

管理番号	

施設所有者			
施設名称		系統名	
施設所在地		電話	
運転管理責任者		電話	
点検事業者	会社名	責任者	
	所在地	電話	

使用冷媒		初期充填量（kg）		点検周期	基準		実績（月）

設備製造者				
設置年月日				
使用機器	型式		製品区分	
	製番		設置方式	現地施工
	用途		検知装置	

冷媒量（kg）	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数（%）

作業年月日	点検理由	充填量（kg）	回収量（kg）	監視・検知手段（最終）	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	チェックリストNo.	確認者

8. 製品独自のお願い事項

8-1. 廃棄について

⚠ 警 告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

指示を実行

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、専門の回収業者に依頼してください。

8-2. 移設時の据付場所について

⚠ 警 告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

- 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店（工事店）、または指定のサービス店、または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）に相談してください。
- 据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。
- ユニットの移設時は、販売店または専門業者に依頼し、据付場所は「据付工事説明書」に従って選定してください。

9. 据付工事の確認と試運転

- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。
- 据付工事が完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。

内容	チェック欄
・「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。	
・運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。	
・試運転に立ち会いましたか。	
・据付工事説明書の据付工事のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。	

10. 仕様

[1] KFH形

項目			セット形名	KFH-P2A1	KFH-P3A1	KFH-P5A1	KFH-P10A1
使用温度範囲		室内ユニット	℃［DB］	3～40			3～40
除湿	除湿能力※1		L/h	5.5／6.2	7.1／7.8	14.6／16.3	24.2／26.3
除湿	電気特性	消費電力	kW	1.4／1.8	2.1／2.7	4.1／5.2	9.3／11.8
除湿	電気特性	運転電流	A	6.2／6.6	7.6／9.1	15.5／18.1	31.7／35.9
除湿	電気特性	力率	%	65／79	80／86	76／83	85／95
始動電流			A	41／39	65／59	126／112	265／239
電源				三相　200V 50Hz／60Hz			
室内ユニット	圧縮機	型式		全密閉ロータリー式	全密閉スクロール式		
室内ユニット	圧縮機	電動機呼称出力	kW	1.5	2.2	3.7	7.5
室内ユニット	圧縮機	クランクケースヒータ	W	－			50
室内ユニット	送風機	形式		シロッコファン		シロッコファン×２個	
室内ユニット	送風機	電動機呼称出力	kW	0.06	0.2	0.64	1.5
室内ユニット	送風機	機外静圧	Pa	0～100		0～200	0～350 （別売部品使用）
室内ユニット	送風機	標準風量	m^3/min	22／22	25／29	70／70	90／90
室内ユニット	冷凍機油		L	ダイヤモンドフリーズ MEL56 0.87L	DAPHNE FV50S 1.2L	DAPHNE FV50S 1.4L	DAPHNE FVC68D 3.0L
室内ユニット	冷媒	封入量	kg	R410A × 1.4	R410A × 1.5	R410A × 3.0	R410A × 3.7
室内ユニット	冷媒	冷媒制御		電子式膨張弁			
室内ユニット	除霜方式			ホットガス式			
室内ユニット	エアフィルタ			PP ハニカム＜水洗浄式＞			
室内ユニット	保護装置			熱動過電流継電器， 熱動温度開閉器（圧縮機）， 熱動温度開閉器 （送風機インナーサーモ）， 高圧圧力開閉器， 低圧圧力開閉器	熱動過電流継電器， 熱動温度開閉器（送風機インナーサーモ）， 高圧圧力開閉器，低圧圧力開閉器		熱動過電流継電器 （圧縮機、送風機）， 高圧圧力開閉器， 低圧圧力開閉器
室内ユニット	運転調節装置			湿度調節器＜内蔵＞			
室内ユニット	付属品			リモコン			
室内ユニット	塗装色＜マンセル記号＞			マンセル 5Y8/1			
室内ユニット	外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,550 × 640 × 485		1,650×980×485	1,898×1,420×485
室内ユニット	製品質量		kg	114	135	190	283

※1　除湿能力は、室内吸込空気乾球温度25℃［DB］、相対湿度80%で除湿運転した場合の値を示します。（除湿能力公差：±5%）

お願い

- 停止中も電源を落とさないでください。（クランクケースヒータが通電されていないと圧縮機を保護できません。）
  長期停止から再運転・試運転する場合は6時間以上前に電源を入れクランクケースヒータに通電してください。（KFH-P10A1のみ）

お知らせ

- 使用温度範囲の詳細は、使用範囲（16ページ）を参照してください。
- 仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。

[2] RFH形

項目			セット形名	RFH-P2A1	RFH-P3A1	RFH-P5A1	RFH-P10A1
使用温度範囲	室内ユニット		℃［DB］	3～40※3			
	室外ユニット		℃［DB］	－5～43			
除湿	除湿能力※1		L/h	5.5／6.0	7.8／8.7	14.2／16.4	21.1／23.6
	電気特性	消費電力	kW	1.6／2.1	2.2／2.8	4.3／5.7	10.2／12.9
		運転電流	A	6.5／7.1	8.0／9.3	15.9／18.8	34.5／41.5
		力率	%	71／85	80／86	78／87	85／90
冷却	冷却能力※2		kW	6.0／6.7	8.5／10.0	14.7／15.5	29.4／32.4
	電気特性	消費電力	kW	1.8／2.2	2.3／2.9	4.9／6.0	10.1／12.6
		運転電流	A	7.1／7.5	8.3／9.8	17.6／19.6	34.6／39
		力率	%	73／85	80／87	80／87	84／93
始動電流			A	41／39	65／59	126／112	265／239
電源				三相　200V 50Hz／60Hz			
室内ユニット	形名			RF-P2A1	RF-P3A1	RF-P5A1	RF-P10A1
	圧縮機	型式		全密閉ロータリ式	全密閉スクロール式		
		電動機呼称出力	kW	1.5	2.2	3.7	7.5
		クランクケースヒータ	W	25			50
	送風機	形式		シロッコファン		シロッコファン×２個	
		電動機呼称出力	kW	0.06	0.20	0.64	1.5
		機外静圧	Pa	0～100		0～200	0～350 （別売部品使用）
		標準風量	m³/min	22／22	25／29	70／70	90／90
	冷凍機油		L/h	ダイヤモンドフリーズ MEL56 0.87L	DAPHNE FV50S 1.2L	DAPHNE FV50S 1.4L	DAPHNE FVC68D 4.0L
	冷媒	封入量	kg	R410A × 3.2 （配管長：5m）	R410A × 3.5 （配管長：5m）	R410A × 6.2 （配管長：5m）	R410A × 8.0 （配管長：5m）
		冷媒制御		電子式膨張弁			
	除霜方式			ホットガス式			
	エアフィルタ			PP ハニカム＜水洗浄式＞			
	保護装置			熱動過電流継電器， 熱動温度開閉器（圧縮機）， 熱動温度開閉器 （送風機インナーサーモ）， 高圧圧力開閉器， 低圧圧力開閉器	熱動過電流継電器， 熱動温度開閉器（送風機インナーサーモ）， 高圧圧力開閉器，低圧圧力開閉器		熱動過電流継電器 （圧縮機、送風機）， 高圧圧力開閉器， 低圧圧力開閉器
	運転調節装置			湿度調節器＜内蔵＞，温度調節器＜内蔵＞			
	付属品			リモコン			
	塗装色＜マンセル記号＞			マンセル　5Y 8/1			
	外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,550 × 640 × 485		1,650×980×485	1,898×1,420×485
	製品質量		kg	126	151	214	294
	配管寸法	冷媒出口	mm	φ 12.7 フレア接続		φ15.88 フレア接続	φ19.05 フレア接続
		冷媒入口	mm	φ 9.52 フレア接続		φ 12.7 フレア接続	φ15.88 フレア接続
室外ユニット	形名			RV-P2A	RV-P3A	RV-P5A	RV-P10A
	送風機	型式		プロペラファンφ 490		プロペラファンφ 490 × 2 個	
		電動機呼称出力	W	110		88 × 2 個	200 × 2 個
	付属品			ソケット		―	―
	塗装色＜マンセル記号＞			マンセル　5Y 8/1			
	外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	645×724×587	848×724×587	1,375×990×645	960×1,375×610 (960×1,375×1,289)
	製品質量		kg	28	40	89	120
	配管寸法	冷媒出口	mm	φ 9.52 ろう付接続		φ 12.7 ろう付接続	φ15.88 ろう付接続
		冷媒入口	mm	φ 12.7 ろう付接続		φ15.88 ろう付接続	φ19.05 ろう付接続

※1　除湿能力は、室内吸込空気乾球温度25℃［DB］、相対湿度80%で除湿運転した場合の値を示します。（除湿能力公差：±5%）

※2　冷却能力は、室内吸込空気乾球温度25℃［DB］、相対湿度80%、室外吸込空気乾球温度30℃［DB］で冷却運転した場合の値を示します。

※3　室外ユニットの吸込空気温度により室内温度の使用範囲に制限があります。詳しくは、使用範囲（17ページ）を参照ください。

お願い

- 停止中も電源を落とさないでください。（クランクケースヒータが通電されていないと圧縮機を保護できません。）
  長期停止から再運転・試運転する場合は6時間以上前に電源を入れクランクケースヒータに通電してください。

お知らせ

- 仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。

[3] KFHV形

項目			セット形名	KFHV-P7A	KFHV-P9A
使用温度範囲		室内ユニット	℃［DB］	1～45	
除湿	除湿能力※1		L/h	定格 20.8　最大 22.5	定格 26.1　最大 29.0
除湿	電気特性	消費電力	kW	定格 6.0/6.2　最大 6.6/6.8	定格 8.7/8.9　最大 11.0/11.2
除湿	電気特性	運転電流	A	定格 18.9/19.3　最大 20.9/21.2	定格 27.3/27.8　最大 34.4/35.1
除湿	電気特性	力率	%	定格 92/93　最大 91/93	定格 92/92　最大 92/92
始動電流			A	23	23
電源				三相　200V 50Hz ／ 60Hz	
室内ユニット	圧縮機	型式		全密閉スクロール式	
室内ユニット	圧縮機	電動機呼称出力	kW	8.4（100Hz）	
室内ユニット	圧縮機	クランクケースヒータ	W	35	
室内ユニット	送風機	形式		シロッコファン× 2 個	
室内ユニット	送風機	電動機呼称出力	kW	0.64	
室内ユニット	送風機	機外静圧	Pa	0～100	
室内ユニット	送風機	標準風量	m^3/min	86	
室内ユニット	冷凍機油		L	MEL32 2.2L	
室内ユニット	冷媒	封入量	kg	4.8	4.8
室内ユニット	冷媒	冷媒制御		電子式膨張弁	
室内ユニット	除霜方式			ホットガス式	
室内ユニット	エアフィルタ			PP ハニカム＜水洗浄式＞	
室内ユニット	保護装置			高圧圧力開閉器，熱動温度開閉器（送風機インナーサーモ）	
室内ユニット	運転調節装置			湿度調節器＜内蔵＞，温度調節器 ＜内蔵＞	
室内ユニット	付属品			リモコン	
室内ユニット	塗装色＜マンセル記号＞			マンセル　5Y 8/1	
室内ユニット	外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1950×1200×484	
室内ユニット	製品質量		kg	253	253

※1　除湿能力は、室内吸込空気乾球温度25℃［DB］、相対湿度80%で除湿運転した場合の値を示します。（除湿能力公差：±5%）

お願い

- 停止中も電源を落とさないでください。（クランクケースヒータが通電されていないと圧縮機を保護できません。）
  長期停止から再運転・試運転する場合は6時間以上前に電源を入れクランクケースヒータに通電してください。

お知らせ

- 使用温度範囲の詳細は、使用範囲（17ページ）を参照してください。
- 仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。

11. 修理を依頼する前に

以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときはご使用を中止し、配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にしてください。故障の状況と表示部の英数字を、お買上げの販売店（工事店・サービス店）にご連絡ください。

[1] ようすがおかしいとき

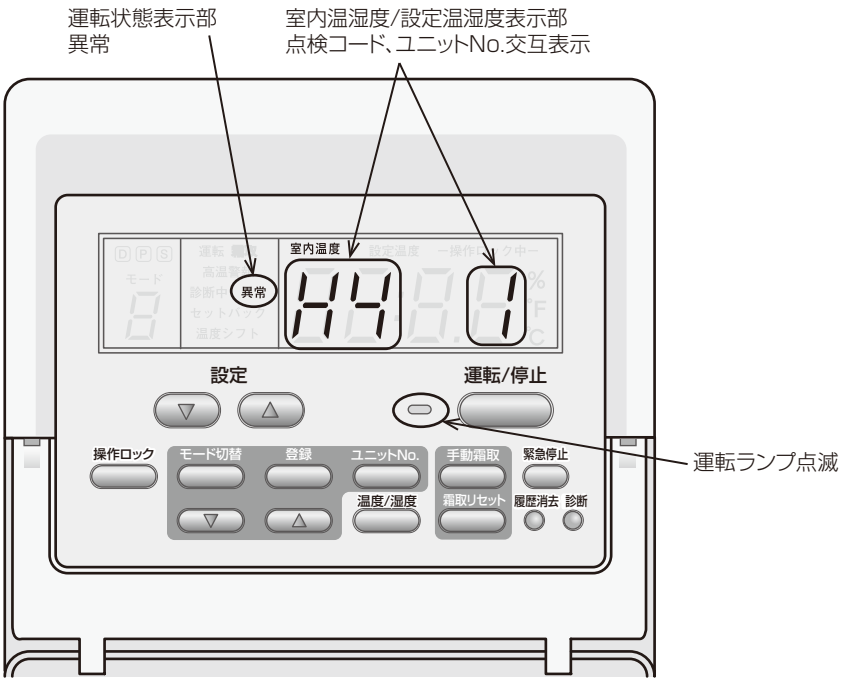
No.	現象	原因の確認	処置方法
1	動かない。 リモコンの運転ランプが点灯しない。	電源（ブレーカ）が入っていますか。	電源（ブレーカ）を入れてください。
2	**[運転・停止]** ボタンを押さないのに、勝手に動き出した。	外部入力信号にて ON 操作した場合は、**[運転・停止]** ボタンを押さなくても動き出します。	異常ではありません。
3	**[運転・停止]** ボタンを押さないのに、勝手に停止した。	外部入力信号にて OFF 操作した場合は、**[運転・停止]** ボタンを押さなくても停止します。	異常ではありません。
4	**[運転・停止]** ボタンを押したのに停止しない。	霜取運転中に **[運転・停止]** ボタンを押しても、霜取終了まで運転を継続します。	異常ではありません。
5	湿気が取れない。 風量が低下している。	• 温湿度設定値を確認してください。	• 温湿度設定値を調整してください。
		• フィルタが汚れ、目詰まりしていませんか。	• フィルタの清掃をしてください。
		• 室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていませんか。	• 室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
		• 室内の湿度の偏りにより、2台以上設置したとき除湿量に差が出ます。	異常ではありません。
6	再運転のために停止後すぐに **[運転・停止]** ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	ユニットを保護するため、マイコンの指示で止まっています。	停止から、約 3 分間待ってください。
7	水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。	異常ではありません。 もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
8	“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。	異常ではありません。 もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
9	室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。	異常ではありません。
10	除湿モードで運転中に冷風が出る。（RFH 形のみ） 冷却モードで運転中に温風が出る。（RFH 形のみ）	ユニット内部の冷媒分布を適正に保つため、定期的に冷媒回収運転を行っています。	約 4 分間で冷媒回収運転は終了しますので、そのまま待ってください。
11	運転停止ボタンを押してもリモコン表示が“－”となり、運転停止できない。	外部入力を使用していませんか。	外部入力でユニットを停止させてください。

[2] 点検コードについて

異常発生のとき

- 運転状態表示部に『異常』表示します。
- 運転ランプが点滅します。
- 室内温湿度 / 設定温湿度表示部に点検コードとユニット No. が交互点滅します。

ご自身では絶対に修理しないでください。除湿機の電源（ブレーカ）を切り、点検コードとユニット No. をメモしてお買い上げの販売店（工事店・サービス店）に連絡してください。



点検コード	不具合内容	備考
C1	サーミスタ<吐出管温度>異常（TH1）	異常時、運転 / 停止ボタンを押して停止させることで、「異常」表示を解除できます。
C2	サーミスタ<ＬＥＶ直前液温度>異常（TH2）	
C3	サーミスタ<冷却器入口温度>異常（TH3）	
C4	サーミスタ<吸入温度>異常（TH4）	
C6	サーミスタ<吸込空気温度>異常（TH6）	
C7	湿度センサ<吸込空気湿度>異常（TH7）	
CH	圧力センサ＜高圧＞異常（PSH）	
CL	圧力センサ＜低圧＞異常（PSL）	
H1	吐出圧力異常	
H2	吐出昇温異常	
H3	高圧バックアップ制御頻発異常	
H5	熱動過電流遮断器＜圧縮機＞作動	
H6	逆相異常	
H9	圧力開閉器＜高圧＞または温度開閉器＜吐出＞作動	
EF	温度開閉器<送風機>作動	
L2	液バック異常	
L3	低圧圧力異常	
F1 ～ F4	リモコン通信送受信異常	
d1	アドレス設定異常	アドレスの再設定が必要です。販売店（工事店・サービス店）にご相談ください。
FE	緊急停止（火報対応）	
d5	電装プロセッサ H/W 異常	
d6	BUS BUSY 異常	
d7	不正電文長異常	
d8	ACK 無しエラー	
d9	応答フレーム無し異常	
01 02 03 0A	リモコン伝送システム異常	異常時、運転 / 停止ボタンを押して停止させることで、「異常」表示を解除できます。

※ C1 ～C7、CH、H3 での異常時は運転を継続します。
C1 での異常について、KFH-P3, 5, 10A1 とRFH-P3, 5, 10A1 は異常停止します。
C7 異常表示の場合、リモコンまたは，外部発停のON/OFF により運転・停止します。
F1 ～F4 は「リモコン」設定時は異常停止、「レベル」設定時は運転を継続します。
その他の異常時は異常停止します。

※ CH 圧力センサ〈高圧〉異常は、高圧がショート（4.5MPa 以上）またはオープン（0.098MPa 以下）にて作動します。

12. 法令関連の表示

12-1. 標準的な使用条件

- 使用範囲は「5-3-3. 運転温湿度範囲の目安（16ページ）」を参照してください。
  使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、機器が異常停止したり、重大な事故の原因となります。

12-2. 機器予防保全と消耗部品の交換周期の目安

本製品の設計標準使用期間は次の内容を守ったうえで10年です。本項の他、「13-1-1. 保証できない範囲（33ページ）」の「使用範囲」設計標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
なお設計標準使用期間は保証期間ではありません。
保全周期（交換周期）は保証期間を示しているものではありません。

主要部品名	点検周期	保全周期 （交換または修理）	主要部品名	点検周期	保全周期 （交換または修理）
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ		20,000時間	バルブ（電磁弁など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサ （サーミスタなど）		5年
電子基板類		25,000時間			
熱交換器		5年	ドレンパン		8年

- 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- この保全周期は、使用方法・環境により前後します。製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
  また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。
- 性能部品（消耗部品）の供給保証期間は製造中止後10年です。

13. 保証とアフターサービス

13-1. 保証について

- 保証書は、必ず「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入をお確かめのうえ、販売店（工事店）からお受け取りください。
  保証書は内容をよくお読みになったあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日（据付日または試運転完了日）から１年間です。
  保証期間内でも有料となる場合がありますので、保証書をよくお読みください。
- 製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れなどによる家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

13-1-1. 保証できない範囲

1) 下表に指定した範囲外で使用したことによる故障の場合

項目	使用範囲
周囲温度・湿度	16, 17 ページ記載の使用範囲内
電源	三相 200V 50/60Hz
運転中の電圧	180 ～ 220V
始動時の最低電圧	170V 以上
相間電圧不平衡率	2%以内

2) 当社の出荷品を据付けにあたって改造した場合

3) 運転、調整、保守の不備による故障の場合
   - 塩害
   - 据付場所不備による故障（風量不足、化学薬品などの特殊環境条件）
   - メンテナンス不備（ガス漏れに気づかなかった場合）
   - 現地配管工事による故障（ろう付け不良、配管損傷、冷媒回路への異物の混入）
   - 冷媒過充てん、冷媒不足に起因する故障
   - 真空運転による空気、水分を吸込んだと判断される場合
   - ショートサイクル運転による故障（運転と停止を３分以下で繰り返す運転）

4) 天災、火災による故障

5) 据付工事中に不都合がある場合
   - 据付工事中の取扱い不良で損傷、破損した場合
   - 当社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
   - 軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で故障した場合

6) その他、ユニット据付、運転、調整、保守上など常識となっている内容を逸脱した工事、および使用方法での故障は、一切保証できません。
   また、ユニットの故障に起因した冷却物、営業補償などの２次補償はいたしません。販売店などにご相談のうえ、損害保険で対処してください。

13-2. 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後１０年保有しています。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
  この基準により、補修用性能部品を調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理を実施いたします。

13-3. 修理を依頼されるときは（出張修理）

- 「11. 修理を依頼する前に」にしたがってお調べください。（30ページ参照）
  なお、不具合があるときは、ご使用を中止し、必ず配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にしてから、お買い上げの販売店（工事店・サービス店）にご連絡ください。
- 保証期間中は保証書の規程にしたがって、販売店（工事店・サービス店）が修理させていただきます。
  なお、修理に際しまして、保証書をご提示ください。
- 離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 料金などについては、販売店にご相談ください。点検・診断のみでも有料となることがあります。
  ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。
- 修理料金は、技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料） （有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。）

- 機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明なども修理料金に含まれます。
- ご連絡いただきたい内容（出張修理対象商品）

品名	取扱説明書の表紙に記載
形名	取扱説明書の表紙に記載
お買い上げ日	保証書発行の年月日：　　年　　月　　日
故障の状況	「できるだけ具体的に」
ご住所	「付近の目印なども」
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

13-4. 移設について

- 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店（工事店・サービス店）、または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。

13-5. お問い合わせ

- ご不明な点は、まずお買い上げの販売店（工事店・サービス店）にお問い合わせください。
  お買い上げの販売店（工事店・サービス店）にご依頼できない場合は、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）へお問い合わせください。
  （所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。）

お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

14. 環境関連の表示

⚠ 警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

指示を実行

- ユニットを廃棄される時は、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買い上げの販売店（工事店・サービス店）、または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。
- 本製品は、ご使用終了時の再資源化の一助として、主なプラスチック部品に材料名を表示しています。

愛情点検	●長年ご使用のユニットの点検を！

こんな症状はありませんか	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常･故障がある。	▶	ご使用中止	事故防止のため、配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にし、販売店に点検･修理をご相談ください。

便利メモ	お買上げ販売店名
	電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)
0037(80)2229(フリーボイス)･073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所　〒640-8686　和歌山市手平6-5-66

2019年12月作成

WT08285X05